

保育所等の待機児童数（令和2年4月1日時点）について

令和2年4月1日時点の待機児童数は 55人 となり、前年同月比で 48人減少しました。

待機児童：保護者の就労など、保育の必要性がある児童で、保育所などの特定教育・保育施設（認定こども園の幼稚園機能部分及び幼稚園を除く。）又は小規模保育などの特定地域型保育事業の利用を希望しているが、希望どおり保育を受けられていない児童。

※一時預かり事業・預かり保育の補助を受けている幼稚園や企業主導型保育事業を利用できている場合又は特定の施設を希望している場合、育児休業を延長し入所可能になり次第の復職を希望しない場合を除く。

1 市町別待機児童数

（単位：人）

市町名	H31.4.1	R2.4.1	増減
松山市	33	42	+9
大洲市	21	0	△21
四国中央市	0	1	+1
松前町	36	6	△30
砥部町	13	6	△7
合計	103	55	△48

※4月1日時点で両年ともに待機児童が発生していない市町は省略

2 待機児童の主な減少要因等

- 計画的に各市町での施設整備や保育士確保が進んでいること。
- 前年同期は豪雨災害による休園（大洲市）や認定こども園の完成延期（松前町）といった一時的な増加要因があったこと。

なお、昨年10月に開始した幼児教育・保育の無償化の大きな影響は見られないものの、松山市等の都市部では、3歳児以上の入所申込みが増加するなど、待機児童の解消は困難な状況が続いている。

3 県の待機児童対策の取組み（令和2年度）

施設整備への補助を通じた受け皿の確保及び潜在保育士の就職支援等を通じた保育人材の確保等により市町を支援します。また、県と市町による愛媛県待機児童対策協議会で広域的連携による対策を推進します。

【受け皿の確保】

- ・認定こども園等4か所の整備支援を行い、新たに約40人分の定員を増加予定

【保育人材の確保】

- ・保育士の負担軽減のため、直接園児の世話をを行う保育補助者等に対する補助
- ・保育士・保育所支援センターによる潜在保育士への就職支援等
- ・県外保育士に対する県内保育所等への就職活動に要する補助 等

4 参考データ

(1) 待機児童数の推移

(単位：人)

市町名	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度
	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月
松山市	94	256	88	236	36	190	33	264	42
今治市	0	0	0	8	0	13	0	3	0
宇和島市	0	0	0	2	4	7	0	0	0
八幡浜市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新居浜市	0	0	0	9	0	4	0	1	0
西条市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大洲市	0	20	0	25	0	12	21	19	0
伊予市	0	6	0	6	0	0	0	6	0
四国中央市	0	0	0	13	0	2	0	3	1
西予市	0	0	0	0	0	4	0	9	0
東温市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久万高原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松前町	0	15	0	16	0	45	36	60	6
砥部町	16	30	9	16	9	18	13	26	6
内子町	0	0	0	3	0	11	0	9	0
伊方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	110	327	97	334	49	306	103	400	55

(2) 令和2年4月1日時点の待機児童の年齢別内訳

(単位：人)

市町名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上	合計
松山市	0	15	17	9	1	42
四国中央市	0	0	0	1	0	1
松前町	2	1	3	0	0	6
砥部町	0	4	1	1	0	6
合計	2	20	21	11	1	55
割合	78.2%			21.8%		100%